

バトンをつなぐ!

校長 浅賀俊也

校庭のイチョウが色づき、秋の深まりを感じる頃となりました。



さて、先月17日に行われた仲よし体育祭では、たくさんの方の保護者の方に応援していただきありがとうございました。6年生の子供たちは精一杯自分の力を発揮できたのではないかと思います。

その体育祭の中で一際注目された種目があります。それは、最後に行われた400mリレーです。リレーの醍醐味の一つはバトンパスです。バトンワークの技術の優劣が最終的なタイムに大きく影響するからです。

第一小の子供たちは、運動会後から、ほぼ毎日リレーの練習に打ち込んできました。「どうしたら早く、スムーズにバトンをつなぐことができるか？」子供たちは、これまで試行錯誤しながら練習に熱心に取り組んできました。そして体育祭当日に最高のバトンパスができるように…。

結果は見事、男女ともに1位！一緒に観戦していた校長先生方からも、「バトンパスが見事でしたね。」とお褒めの言葉をいただきました。

リレー競技では、バトンを渡された走者は、前の走者の走りに感謝してその頑張りを次につなぐためにひたすら走ります。そしてバトンを渡した後、次の走者が必ず最高の走りとしてくれると信じて応援し続けます。バトンをつなぐことは心をつなぐことなのだと思います。

こんなこともありました。24日に行われた音楽集会では、6年生が地区音楽会で歌う「COSMOS（コスモス）」を初めて披露してくれました。その素晴らしい歌声が体育館一杯に響き渡り、聞いていた子供たちや保護者の方々からは大きな拍手が送られました。その後のことです。恒例の退場時の演奏が行われ、5年生は窓締めをしていました。その動きが素早く終わったかと思うと、みんなの足が6年生の前でピタッと止まったのです。そしてしばらく6年生を真剣な眼差しで見つめていました。きっと、5年生の心に受け継がれたものがあったのだと思います。第一小の伝統は、このように代々受け継がれてきたのでしょう。今後の受け継ぐ活動にも期待しています。



